

令和4年度 指定管理業務 評価票

りんくう公園	【指定管理者】 ハートフルりんくう	【指定期間】 平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日	【所管課】 岸和田土木事務所 都市みどり課
--------	----------------------	------------------------------------	--------------------------

【管理状況(概観)】
 ○施設の設置目的に沿い、適切に公園を運営した。
 ○オリジナルグッズを作成し、公園をPRしたことや来園者が快適に利用できるようバリアフリー化を進めたことで、利用促進を図った。
 ○園内の適切な清掃にとどまらず、公園周辺の清掃を行うことでエリア全体の美観の向上に努めた。
 ○利用者満足度調査の全体的な満足度については良好であり、財政基盤及び管理体制についても管理業務を遂行するうえで問題はなかった。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の 自己評価		施設所管課の評価		評価委員会の指摘・提言
		評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	評価 (S~C)	

I 提案の履行状況に関する項目

(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した	A	施設所管課評価は適正である。
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した	A	施設所管課評価は適正である。
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	公園利用者の利便性の向上がなされたか(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか、スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。) ※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認。 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認。 ※「新しい生活様式」による新たなニーズに対応した取組み ※隣接する府民の森や公園、施設等の連携による利用促進がなされたか(箕面公園・枚岡公園・長野公園が記載対象) ※平日駐車場の利用促進がなされたか(深北緑地・錦織公園・住之江公園が記載対象)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した	A	施設所管課評価は適正である。
	収益事業の実施状況(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した	A	施設所管課評価は適正である。
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか(接客等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した	A	施設所管課評価は適正である。
	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか(頻度・時期及び技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した	A	施設所管課評価は適正である。
	園内清掃について、良好な管理を行ったか(頻度・時期及び技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○週2回を標準として園内清掃を実施した。 ○GW、お盆期間中は毎日、連絡通路などの清掃を実施し美観維持に努めた。 ○園内以外に、府道や泉佐野市道の歩道を中心に毎月清掃を行い周辺美化に取り組んだ。 ○内海の水深2m~4mに沈んでいるゴミ(すくい網や、古タイヤ)などを素潜りにより回収する「海中清掃」を年間3回実施した。また、大阪公立大学と連携して、イベント時に回収したゴミを題材に、参加者に環境問題について啓発した。 ○9月20日に発生した台風14号により、多くのゴミや海藻がマーブルビーチに漂着したため、8日間に亘り清掃を行った。 ○タバコの吸い殻が多い箇所では重点的に清掃を実施するとともに、来園者にマナーアップ向上のため、啓発グッズを配布した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○GW、お盆期間中の清掃強化により、ゴミのない美しい園内環境を維持できた。 ○毎月、公園区域外の清掃も積極的にを行い美化に取り組んだ。 ○内海の海中清掃を実施し、隠れたゴミも回収し、良好な環境を維持することができた。 ○台風後に漂着したゴミを速やかに回収し、プライダル撮影や一般来園者に影響のないよう努めた。 	S	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って管理・運営をするとともに提案以上の取り組みを実施した。 新たな取り組みとして、職員が自ら内海の海中清掃を計3回以上実施したことや、府道泉佐野岩出線府道清掃を計10回以上実施した。また、台風によってマーブルビーチに漂着したゴミなどを計9回以上行い、軽トラック25台分以上のゴミを回収したことは高く評価できる。	S	施設所管課評価は適正である。 園地外の内海海中や、アクセス道路の清掃など、周辺地域にも広げた利用や美観への配慮は、高く評価できる。
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					
	運動施設について、良好な管理を行ったか(頻度および技術について確認。)					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の 自己評価	施設所管課の評価		評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
(4) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期及び技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取組について応募時の提案を実施できたか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○内海の海中清掃を年間3回実施した。そのうち1回は大阪公立大学と連携して行い環境保全に努めた。 ○外海とをつなぐ導水管の状況を外海側から潜り調査し、従業員に情報共有した。 ○「内海生き物観察会」を大阪公立大学と連携して開催し20名の参加があった。 ○「チリメンモンスターを見つけよう」では、きしわだ自然資料館の学芸員を講師に18名参加があった。 ○約100匹のカブトムシを自由に触れることができる「ふれあいコーナー」を開催し600人以上の来場者があった。また、幼虫ふれあい体験も実施し、参加者に直接手で触ってもらいイベントも開催した。 ○内海に生息している生き物を自由に触れるミニタッチプールを管理事務所1階に設置した。 ○内海に生息しているヤドカリやインガなどを解説した「うちうち生き物ミニ図鑑」を作成し、生き物観察会に参加した方に配布した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他公園や大学と連携しながら、学べるきっかけづくりを提供することができた。 ○生き物に関するイベントを多く開催することができ、新たなコンテンツを構築することができた。 	S	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って管理・運営をするとともに提案以上の取り組みを実施した。 新たな取り組みとして内海の生き物と触れ合えるタッチプールを設置した。また、大学と積極的に連携して生き物ずかんを作成し、イベント参加者へ配布するなど、自然環境学習への取り組みは高く評価できる。	S	施設所管課評価は適正である。 大学と連携を図りつつ、生き物とふれあう機会を新たな形で企画実施したことは、自然環境学習の新たな取り組みとして、高く評価できる。
	利用者の安全確保対策の具体的方策(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適切に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
危機管理体制(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。	
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。 ①府公益事業への協力②就労支援③障がい者雇用率④知的障害の継続雇用⑤府民参加・NPOとの協働⑥環境問題	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。

II さらなるサービスの向上に関する事項

(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケート調査を4/30-6/30で200人、10/1-10/24で202人に実施した。 ○総合的評価の全般的な満足度は、1.62であった。 ○下降項目がなく、上昇項目として、「草刈(1.6→1.7)」「花壇(1.5→1.7)」「ゴミ(1.4→1.5)」「高齢者や障がい者、乳幼児等への配慮(1.4→1.5)」「売店(0.8→0.9)」「イベント(1.0→1.2)」「HPやイベントの案内(1.3→1.4)」の項目が昨年度より上昇した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨時売店を積極的に出店したことにより、売店の評価が上昇し、利便性向上につなげることができた。 	S	公園の全般的な満足度は1.62で、非常に高い評価を得ている。	S	総合的な満足度は非常に良好であり、適切な管理運営であると認められる。
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取組を行ったか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サービス(売店) <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、キッチンカーの車両台数を増やすなどの取組により、さらなる利便性向上を図ると提案し、今年度はその取組として、インスタ映え効果がある「ボンボンソフトクリーム」の画像を用いたオリジナルタペストリー設置など売店営業のPR強化や、キッチンカーをアウトレット海側園路に53日間出店した。(11月末時点) ○サービス(ホームページやイベント案内) <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、ホームページに周辺施設の画像を掲載するなどの取組により回遊性強化に努めると提案し、今年度はその取組として、ホームページのトップ画面上でのカラーセルにイベント画像をその都度掲載更新し、そこをクリックするとイベント申込フォームに移行可能になるよう工夫したほか、イベント開催時の会場を分散させることで、回遊性強化に努めた。 ・ホームページには、周辺施設を画像で紹介することとし、その結果、アウトレット内にある遊具や展望デッキの画像を掲載し、回遊性強化に繋がった。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨時売店を積極的に出店するなどサービス向上を図った。 ○コロナ禍の中、会場を分散するイベントを開催し、密にならないよう工夫した。 	A	前年度アンケートの結果を受けて、より満足度を向上させるよう取り組んでいる。	A	前年度のアンケート意見に対して、満足度向上のため適切に取組を実施している。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の 自己評価		施設所管課の評価		評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <p>○「四季の泉」をシルエットにしたロゴを使用し、タオル、コースター、クリアファイルを作成、地域観光案内所で販売を行った。</p> <p>○夏季にカブトムシを自由に触れることができる「ふれあいコーナー」を開催した。また、秋には幼虫ふれあい体験会を行い、生態について解説した。</p> <p>○夏季に内海に生息している生き物に自由に触れることができる「ミニタッチプール」を管理事務所1階に設置した。</p> <p>○バリアフリー化に伴う出入口開放実施で、昨年度試験開放を行った出入口を9月より本格運用とした。</p> <p>○8月に開催したりんくうパークフェスタに、隣接するりんくうアイスアリーナ(スケートリンク)から氷を提供していただき、自由に触れる場を設けた。</p> <p>○11月にはバリアフリー化第3弾として、歩道部への段差がある箇所をアスファルトで擦り付け、滑り止め塗装を行い、段差を解消した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○オリジナル商品を作成し販売を行った結果、毎月売り上げがあり、特にインバウンドの方々に好評を得ることができた。</p> <p>○海魚や昆虫の生き物ふれあいコーナーを設置するなど、様々な取組みにより7月には過去最高の51,720人の来園者数に繋がった。</p>	S	<p>府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って管理・運営をするとともに提案以上の取り組みを実施した。</p> <p>りんくう公園をPRする更なる取り組みとして、地域と連携して、泉州地域の特産品である泉州タオルやコースターなどのオリジナルグッズを作成し、園内だけでなく最寄り駅でも販売を行い、地域活性化や公園PRを実施した。</p> <p>また、新たに指定管理者が自主的にバリアフリーの取り組みを進めたことは高く評価できる。</p>	S	<p>施設所管課評価は適正である。</p> <p>オリジナルグッズ販売による公園PRや園内バリアフリー化の取組推進は、利用サービスの創出や向上につながり、高く評価できる。</p>

III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目

(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	事業実施計画書に沿った適正な予算管理ができています。	A	事業実施計画書に沿った適正な予算管理ができています。	A	適切な予算執行である。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画(応募時に示した管理体制を構築したか。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理体制及び職員体制を構築した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理体制及び職員体制を構築した。	A	/
	必置技術者等の配置(技術者を配置したか。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に必置技術者等を配置した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に必置技術者等を配置した。	A	
	労働災害等未然防止のための管理運営(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	<p>【実績】</p> <p>構成団体の経営状態に問題はない。</p> <p>【自己評価】</p> <p>安定的な運営が可能となる経営状況を計画通り維持できた。</p>	A	特に問題は見当たらない。	A	構成団体の財政状態は良好である。